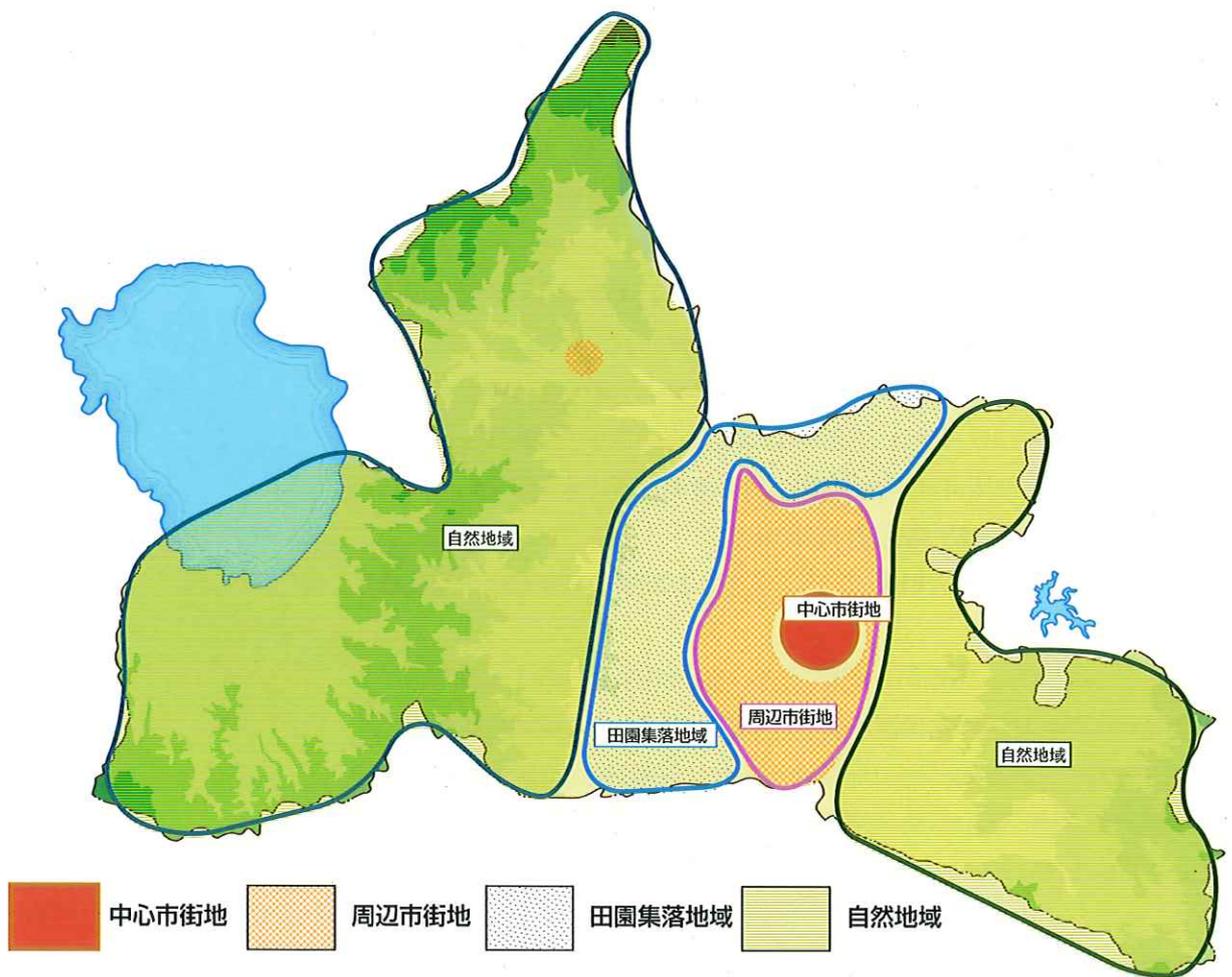


3-2-1 景域区分の目的

郡山市には、さまざまな特色のある景観があります。これらをひとまとめにし、一律の考え方で景観づくりを推進していくことは難しいことです。

このため、同じ景観特性でまとめられる地域を「景域」として分けて景観づくりを推進していく必要があります。

郡山市景観づくり基本計画では、中心市街地、周辺市街地、田園集落地域及び自然地域の4つの景域に区分し、各景域ごとに基本方針を定め、良好な景観づくりを推進していきます。



3-2-2 中心市街地の景観特性と課題

＜中心市街地の基本方針＞

「賑わい」と「水」・「緑」が調和し、歴史や文化が感じられ、
活気あふれる景観づくり

＜景観特性＞

中心市街地を特徴づけている地区には、郡山駅西口周辺の中心商業・業務地の賑わいのある地区と郡山駅東口周辺の工場や住宅、商業施設などが混在した地区、また、麓山周辺の公会堂や文化センター、中央図書館、中央公民館などの文化施設が集積している地区、そして朝日周辺の市役所などの行政施設の集積している地区をあげることができます。

郡山駅西口周辺では、フロンティア通り、陣屋通り、なかまち夢通りなど道路の舗装の高質化が行われました。また、駅前大通りは、アーケードの架け替えや道路の整備が進んでおり、この通りを中心に郡山うねめまつりや安積国造神社秋祭りなど伝統と文化を感じる行事が毎年行われています。

郡山駅東口周辺では、工場や住宅、商業施設などが混在していますが、今後、郡山市都市計画マスタープラン2000によれば、工業地から商業業務地への土地利用転換など土地利用の再編整備により、東部地域の玄関口としてふさわしい都市的景観の整備が見込まれています。

麓山周辺の文化施設が集積している地区では、緑豊かな景観が形成されています。

また、水辺を生かした開成山公園や酒蓋公園、荒池公園、麓山公園などがあり、市街地の中に緑豊かな景観が見られます。さらには、安積開拓等の歴史を伝える開成館や安積開拓官舎(旧立岩一郎邸)、安積疏水事務所、開成山大神宮、開拓者の群像、麓山の滝、旧福島県尋常中学校本館などが点在しており、歴史や文化を感じることもできます。

＜課題＞

郡山駅周辺を中心とする魅力ある賑わい景観の創造が重要であるため、煩雑な印象を与えている広告物の整理や道路空間と調和した魅力ある町並みの創出などが課題となっています。

また、市街地の緑の保全と育成、そして道路からの山並みへの眺望を確保するとともに逢瀬川や荒池、酒蓋池など主要な水辺と周辺の緑が調和した良好な景観づくりを行うことも重要です。

このことから、郡山市の顔としての景観づくりと、郡山駅と行政拠点や美術館などを結ぶシンボル性のある景観づくりが必要です。

また、開成館周辺では、安積開拓の歴史の記憶をとどめる施設周辺の景観

づくりによって、歴史や文化を感じることでできる景観の創出が課題となっています。



郡山駅周辺(なかまち夢通り)



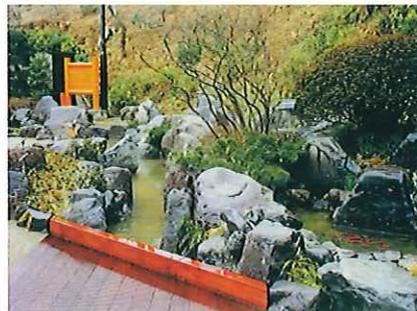
郡山駅周辺(フロンティア通り)



郡山市公会堂



高質化された歩道



せせらぎこみち(開成・台新・西ノ内・若葉町)



安積開拓の歴史の記憶をとどめる施設
(開成館)

3-2-3 周辺市街地の景観特性と課題

＜周辺市街地の景観づくりの基本方針＞

周囲の自然景観と調和し、安らぎや潤いが感じられる景観
づくり

＜景観特性＞

笹原川や五百淵などの水辺の景観資源があるほか、阿武隈川の堤防沿いからは阿武隈山地や奥羽山脈の山並み、市街地への眺望が開けています。

この地域は、戸建て住宅を中心とした住宅地が広がっていますが、中高層集合住宅も多く見受けられます。周辺部では、農地と住宅地が混在した土地利用となっており、市街地にあっても山並みへの眺望が得られる開かれた景観を形成しています。

近年では、幹線道路沿いなどを中心に中高層集合住宅や沿道立地型の大・中規模店舗が進出し、沿道の景観が著しく変化しており、特に、南拠点地区は、郡山市の新しい顔として現代的な景観をつくり出しています。また、郡山インターチェンジ付近には流通関連の大規模な施設があり、背景の自然景観と大規模な施設が対比的な景観を形成しています。

一方、阿武隈川沿いには、郡山中央工業団地や日本大学工学部などの教育機関があり、河川周辺における景観を構成する大きな要素となっています。

また、熱海町は緑豊かな山間の観光地であり、五百川の谷筋、旧国道49号（市道熱海三丁目高玉線）沿いに温泉街が集積していますが、その顔となる磐梯熱海駅前周辺は、温泉街としての賑わいや風情が希薄といえます。

＜課題＞

笹原川など河川の護岸整備が行われた、良好な景観を形成している場所では、これらを保全しながら河川景観を生かした景観づくりを行っていく必要があります。また、山並みへの眺望が開けている場所では、これらを眺める視点場の整備に努めます。

周辺市街地の縁辺部の農地と宅地化された土地が混在している部分では、樹林などの良好な景観資源を残していくなど、市街地景観と田園景観との調和に配慮する必要があります。また、住宅地として生活者に安らぎと潤いを与え、季節感が感じられる緑豊かな景観づくりを行うだけでなく、中高層集合住宅を建築する場合は、周辺の景観との調和に配慮するとともに、その抑制も考えていく必要があります。

沿道型商業・業務施設の進出が進む幹線道路では、建築物や工作物、広告物の良好な景観への誘導を行います。

磐梯熱海駅前や旧国道49号（市道熱海三丁目高玉線）沿いの磐梯熱海温泉街では斜面林や五百川の清流を保全、活用し、温泉街にふさわしい景観づくりが必要です。

また、阿武隈川沿いの郡山中央工業団地や日本大学工学部周辺においては、阿武隈川への親水性や周辺の住宅地との調和に配慮した景観づくりが必要です。

南拠点地区では、商業・業務施設の建築物や工作物、広告物の良好な景観への誘導を行います。



安積町の住宅地



郡山ユラックス熱海（熱海町）



温泉街の町並み（熱海町）



ベンチが置かれた河川沿いの空間（笹原川・安積町）



河川とみどり、住宅地が一体となった良好な景観

3-2-4 田園集落地域の景観特性と課題

＜田園集落地域の基本方針＞

広がりのある田園と周辺の山並みへの眺望を生かした魅力ある景観づくり

＜景観特性＞

安積開拓の原風景を残す田園集落地域では、安積町、三穂田町、逢瀬町、片平町、喜久田町、日和田町など周囲の山並みを背景として広がりのある開放的な田園地域と、農家住宅や屋敷林、ため池などの集落地の景観が共存しています。

市街地の北側は、一部集落地と農地が混在しており、里山と安達太良山への眺望が特徴的です。そこには、農家住宅や屋敷林、ため池など集落の原風景があります。

また、松尾芭蕉ゆかりの地である奥州街道沿いには、松並木など歴史を伝える景観資源があり、その周辺の地域では、比較的小規模な農地が存在しており、点在する里山とともに変化に富んだ景観となっています。

一方、片平地区周辺には、郡山西部第二工業団地などの工業地があますが、豊かな緑化がなされ比較的周囲の田園景観に調和しています。

この地区の主要な施設としては「采女伝説」で有名なうねめ公園があり、周囲の斜面林に調和した緑豊かな景観が形成されています。また、開放的な景観が特徴となっている安積、三穂田地区では、郡山カルチャーパークの構造物の形態が印象的な景観をつくり出しています。

また、南流通業務団地では、大規模な流通施設の建築物が産業の賑わいを感じさせる景観をつくり出しています。

＜課題＞

周囲の山並みを背景として、広がりのある開放的な田園地域と原風景ともなる農家住宅や屋敷林、ため池など景観資源が一体となって良好な景観を形成していることから、これら景観資源の保全が必要です。

また、田園景観の連続性を分断する建築物や工作物、広告物が大きな課題となっています。これらの規模、形態、意匠、色彩等においても周囲の景観との調和に十分な配慮が必要です。

一方、笹原川河川沿いでは、河川と河川沿いの桜並木などの緑が一体となった良好な景観を形成しており、これらの景観をまもり、そだてていくことが重要です。

また、日和田地区においては、奥州街道沿いの松並木の保全とそれらを生かした歴史的な景観づくりが課題となっています。



郡山西部第二工業団地から見える安達太良山



緑豊かな工業団地(郡山西部第二工業団地)



山間の田園集落地景観(田村町)



開放的な田園地域内の道路(三穂田町)



原風景を感じさせる田園集落地(逢瀬町)

3-2-5 自然地域の景観特性と課題

＜自然地域の基本方針＞

美しい自然景観や歴史・文化的資源を生かした誇りと愛着のもてる景観づくり

＜景域特性＞

湖南地区は、奥羽山脈と猪苗代湖の豊かな水と緑に包まれた地域であり、集落は猪苗代湖湖畔と山間部のわずかな平坦地に立地していますが、広大な猪苗代湖に面しているため、広がりのある開放的な景観を形成し、マツに彩られた湖岸や布引高原からは、磐梯山への素晴らしい眺望景観が開けています。

また、湖岸周辺は、猪苗代湖の対岸から見られる景観としても重要な役割があります。

湖南地区には、サンサングリーン湖南や少年湖畔の村などの施設があり、地域のランドマークとなっています。

また、奥羽山脈の東側の山裾には逢瀬公園や高篠山森林公園、浄土松公園など美しい緑豊かな公園があり、市民の憩いの場所となっています。

さらに、熱海地区の母成グリーンライン方面へ向かう県道中の沢熱海線からは、山間に点在する集落や里山が見られ、牧歌的な景観となっており、この沿線周辺には郡山石筍ふれあい牧場や銚子ヶ滝、母成高原あやめ園などの観光資源があります。

一方、郡山市の東部地域の田村、西田、中田地区は、阿武隈山系の丘陵地に位置し、山間の集落と丘陵地とその丘陵地の斜面林が調和した景観をつくり出しています。その景観は、地形の起伏が激しいため変化に富んだものとなっています。

郡山東部ニュータウンは、新しい住宅地として周辺の自然景観と調和した緑豊かな住宅地の景観となっています。この周辺からは、市街地を一望することができます。また、東山霊園は周囲の自然景観と調和した緑豊かな景観を形成し、市民の安らぎの場となっています。

特に、西田地区には高柴デコ屋敷や雪村庵、ペグマタイト岩脈といった観光資源が山間に点在しています。

＜課題＞

自然地域の代表的な景観は、猪苗代湖や磐梯山への良好な眺望景観を有する湖南地区、五百川などの自然景観に恵まれ、良好な自然景観や集落地景観が見られる郡山石筍ふれあい牧場周辺の県道中の沢熱海線沿いの地区、阿武隈山系の丘陵地に位置し、緑豊かな景観を有する東部丘陵地域などがあり、これらの景観を保全することが課題となっています。

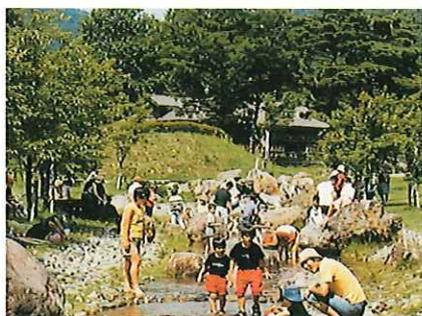
湖南地区は、磐梯山への眺望がすばらしい湖南七浜周辺の自然景観、布引

高原の開放的な景観の保全と、白河街道沿いの三代、福良、赤津集落の歴史的町並みの保全、修景が課題となっています。また、周辺には、貴重な植栽も残存しており、これらを保全していくことも重要です。

母成グリーンライン方面へ向かう県道中の沢熱海線では、里山や集落、斜面林の保全が課題となっています。

東部丘陵地域は、市街地から見た眺望景観に配慮するため斜面林の保全を行っていきます。

また、西田地区では、観光資源を生かしたネットワーク化の形成により、この地域の良好な景観づくりが課題となっています。



郡山石筍ふれあい牧場(熱海町)



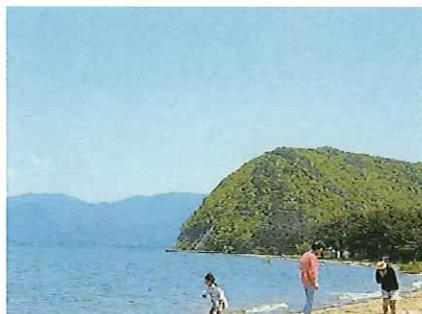
郡山東部ニュータウン



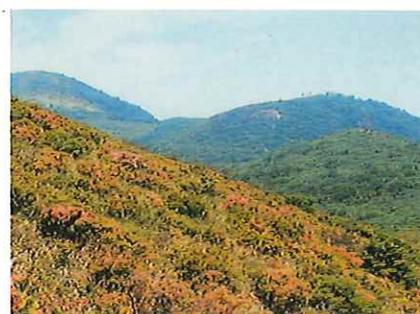
布引高原(湖南町)



緑豊かな美術館通り



湖南七浜



額取山(逢瀬町)